



2013年4月入職

よしだまさひろ  
吉田将大

## 裏表のない素顔の自分で患者さまと向き合う

### 患者さまの話は自分自身の糧

私は自分の思いや考えを表現するのが得意な方ではありません。どちらかと言うと、自分自身のことを話すより、人の話を聞くのが好きなタイプです。それは患者さまとコミュニケーションを取るときも同じです。相手の話に合わせて相槌を打ちながら、言葉に耳を澄ませています。患者さまは人生の大先輩でもあるので、話される内容にも重みがあります。「子育てするときはこちらを大事にした方がいいよ」といった貴重なお話もたくさん聞くことができ、参考になることも多いです。どんな内容であっても毎回真摯に受け止め、自分自身の糧にしています。

患者さまの中には気さくに接してくださる方もいらっしゃるのですが、私が話し方を崩すことはありません。人生の大先輩として尊敬しているので、礼儀や言葉遣いがくだけないように気をつけています。見方によっては他人行儀にも感じられるかもしれませんが、そこに誠実さがあれば、礼節を守っていても距離を縮めることはできます。これからも裏表のない自分を貫きながら、患者さまとコミュニケーションを図っていきたいと思っています。



### 消極的な自分を、少しずつ変えていきたい



これまでは自分にあまり自信が持てませんでしたが、思いやりエキスパートに選ばれたことで、少しずつ自信がついている実感があります。今後の目標は、クリニックを明るく笑顔で溢れる場所にしていきたいことです。実現するためには、まずは自分から積極的に挨拶するよう心がけるなど、あらゆる面で他のスタッフのお手本となっていきたいと思っています。自分の施設はもちろん、リリーフで行った先の施設も雰囲気をもっと明るくしていけるよう

な存在になりたいです。そんな臨床工学技士に成長できるよう、他のスタッフのいいところはどんどん見習いたいですし、気になったポイントはどんどん聞きに行き、ノウハウを自分のものにしていきたいです。消極的だった自分が少しずつ変わっていると、私自身も感じ始めています。

常に笑顔で  
患者さまの心の満足を  
目指します。

吉田将大